

# マクロ学会通信

2011年 4月号 (Vol. 23 No. 241)

この度は東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げますと共に、多くの尊い命が失われましたことに心よりお悔やみを申し上げます。併せて、行方不明になられている方々の一刻も早い安否確認と被災された方々のご無事、そして被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

## お知らせ

### ■ 理事会のお知らせ

日時： 2011年（平成23年）4月26日（火）  
時間： 18:00～20:00  
場所： 拓殖大学 文京キャンパス  
国際教育会館  
（教室番号は当日入り口にて掲示予定）

### ■ 総会のお知らせ

日時： 2011年（平成23年）6月4日（土）  
場所： 拓殖大学 文京キャンパス

### ■ 石膏による塩・アルカリ土壌の改良に関する 共同研究

JAMESとMESPAK(パキスタンマクロエンジニアリング学会)との”石膏による塩・アルカリ土壌の改良に関する共同研究”計画の打ち合わせを行います。ご出席をお願いいたします。

日時： 4月14日（木曜日）午後4時から5時20分  
場所： 横浜ランドマークタワー25階、カフェラウンジ  
主題： 物産環境基金助成金申請内容  
（共同研究内容）

なお、17:30から、同階、2512会議室にて下記の定例研究会を開催いたします。こちらもどうぞご参加ください。

### ■ JAMES研究会（日本復興研究会(仮称)） （未利用資源利用、水資源、MEプロジェクト）

#### 開催のお知らせ

話題：「日本復興論」

未曾有の被害をこうむった東北関東大震災によりわが国のいろいろな問題点がクローズアップされています。このような状況に鑑み、今回

は、これから日本がとるべき道についての討論会といたします。

話題提供：角田晋也（JAMES 理事）

日時： 4月14日（木）17:30～19:00

場所： 横浜ランドマークタワー25階、  
ビジネスサポートフロア2512会議室  
（JR桜木町駅より歩く歩道と徒歩で7分、地下鉄「みなとみらい線」の“みなとみらい駅”より徒歩5分）

<http://www.yokohama-andmark.jp/office/support/index.html>

連絡先：北見辰男、Tel/Fax: 045-742-8077、  
携帯 070-5080-4271、  
[kitamictc@kxd.biglobe.ne.jp](mailto:kitamictc@kxd.biglobe.ne.jp)

角田晋也 [kakutas@jamstec.go.jp](mailto:kakutas@jamstec.go.jp)

木本研一 [astec@fa.mbn.or.jp](mailto:astec@fa.mbn.or.jp)

### ■ ウォーターフロント研究会 代表 沼尻重男

○隅田川大学公開講座FW18

～新生日本橋界隈の探索（日本橋観光船船着き場他）

日時： 4/29（金・祝）

時間： 13:30～16:30

参加費： 500円

集合場所：日本橋橋詰

・滝の広場前（地下鉄日本橋駅直ぐ）

○創立25周年記念講演会 15:40～16:30

テーマ：「日本の環境問題の経緯と新動向」

講師：小林 料氏

（NPO法人環境カウンセラー全国連合会  
特命理事）

日時： 5月29日（日）

時間： 15:00～18:00

参加費： 500円

場所：大黒家倶楽部（浅草・大黒家別館4階）

懇親会：16:40～18:00（会費：3千円）情報交換他

### 参加希望者の連絡・問合せ先

糸井 守 TEL 0422-45-0352

FAX 0422-45-0353

携帯電話 080-5488-1236

E-mail: [mi1234toi@ahoo.co.jp](mailto:mi1234toi@ahoo.co.jp)

### ■ 文明システム研究会

4月16日の文明システム委員会は休みといたします。  
谷本光生

## <会員の皆様>

### ■ 理事選挙の投票（締め切り3/25でした）

学会会則第13条により、平成21～22年度役員の任期満了に伴い、2011年2月25日開催された理事会において理事候補が決定され、同細則第2章第1条の3)に基づき郵便またはファクシミリまたは電子メール投票により選挙を実施しましたが投票が未だの方は4/8まで受け付けます。よろしくお願いたします。

本マクロ学会通信は、次号5月号(Vol.23No.242)は、**2011年5月1日**発行予定です。メールアドレスをお持ちで、事務局にメールアドレスを登録されていない会員の方は、是非事務局までお知らせください。(メールを使用されていない方には、これまで通り送付対応いたします。)

発行・編集 日本マクロエンジニアリング学会事務局  
〒112-8585 東京都文京区小日向 3-4-14  
拓殖大学海外事情研究所  
吉野研究室内(担当:齊藤)  
Tel/Fax 03-3947-2323  
E-mail:fyoshino@ner.takushoku-u.ac.jp  
URL :http://wwwsoc.nii.ac.jp/james2/  
本通信の他への無断転載を禁じます。

## マクロ学会だより

事務局より

日本学術会議協力学術研究団体 各位

### ◆◆東日本大震災への学術としての 対応についての意見募集◆◆

平成23年3月11日、三陸沖を震源地にマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、東北地方太平洋沿岸を中心に広い地域を襲った巨大な津波を誘発して、多くの方々の貴重な生命を奪いました。この未曾有の地震と津波の犠牲者の方々には、心からの哀悼の意を捧げます。

今回の事態に照らして、災害の衝撃に対する日本の社会・経済システムの備えを厳しく点検しなおすこと、災害を予測・予防するために、学術がどこまで有効に貢献できるかを冷静に考えなおすことは、必要不可欠です。この再点検、再検討の作業は本格的な取り組みを要する中・長期的な課題ではありますが、現在も継続中の危機に有効に対処するために早急に必要な緊急作業も、決して少なくはありません。

日本の学術の担い手を結集する日本学術会議は、今回の災害が顕示した日本の社会・経済システムの脆弱性を謙虚に受け止め、その改善の方策を真摯に模索して、次代に安心して引き継ぐことのできる新しいわが国の社会を構築するために科学と技術を活用する方法を、社会に向けて説明する責任を自覚して行動します。

このため、日本学術会議は、3月18日に「東北・関東大震災とその後の原子力発電所事故について」と題する幹事会声明を発し、日本学術会議はこの惨状の克服に向けたあらゆる努力に協力する覚悟を表明しました。

また、同日、日本学術会議講堂において、一般参加者も加えた緊急集会を開きました。この集会では、日本学術会議が、一般市民の方々やメディア関係者の方々とともに、「今できること」について、喫緊の問題と、中長期的な問題との区別を意識しながら議論しました。

さらに、同震災を東日本大震災と呼ぶこととし、3月23日には東日本大震災に対する日本学術会議の取組に関する事項を審議するため、東日本大震災対策委員会を設置し、3月24日に第1回を開催しました。

このたび、同委員会において、学術としての同震災への対応を幅広く審議するため、協力学術研究団体からご意見、ご提案などをいただくことにしました。

アドレスは以下のとおりです。是非積極的にご意見、ご提案などを書き込んでいただきますようお願いします。

アドレス：

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0025.html>

お書きいただいたご意見、ご提案については、個別に対応するのではなく、同委員会の審議に活用するものである点をご了承いただければ幸いです。

なお、日本学術会議における上述の幹事会声明及び緊急集会報告については、日本学術会議のホームページ（<http://www.scj.go.jp>）に掲載しておりますので是非ご覧になって下さい。

平成23年3月25日

日本学術会議会長

金澤一郎

下記資料が事務局に届いています。

### ■「日本学術振興会 育志賞」受賞候補者推薦要項 —優秀な大学院博士課程学生の顕彰・支援—

問い合わせ先：日本学術振興会総務部 研究者養成課  
「日本学術振興会 育志賞」担当

### ■日本学術振興会賞の受賞候補者の推薦要項 —優れた若手研究者の顕彰・支援—

問い合わせ先：日本学術振興会 総務部 研究者養成課  
「日本学術振興会賞」担当

〒102-8471

東京都千代田区一番町8番地住友一番町FSビル7階

TEL: 03(3263)0912 FAX: 03(3222)1986

E-mail: ikushi-prize@jps.go.jp